

## 夏のアーティスト・イン・レジデンス 2012 展覧会

### きめ 「肌理と気配—Textures」

青森公立大学国際芸術センター青森

2012年7月28日(土) — 9月17日(月・祝) 10:00—18:00

会期中無休／無料

#### <参加アーティスト>

アンニ・レッパラ **Anni LEPPÄLÄ** (写真家／フィンランド)

assistant [松原慈+有山宙] **ASSISTANT** (建築家／東京、モロッコ)

野村誠 **NOMURA Makoto** (作曲家・ピアニスト／京都)

法貴信也 **HOKI Nobuya** (画家／京都)



assistant [松原 慈 + 有山 宙] 《空間 / Void》 2010、Sedona 代官山、写真：assistant

#### 肌理

皮膚や物の表面の細かいあや。「一細やかな肌」物の表面に現れたこまかいあや。手ざわりの感じ。文理。

#### 気配

何となく感じられる様子。そぶり。「隣室に人の一がする」「秋の一」「一をうかがう」

(岩波書店 広辞苑より)

## 展覧会概要

青森公立大学国際芸術センター青森（ACAC）では、今年度の年間テーマを「物語／Storytelling」と定めています。「物語」シリーズ第2弾となる今回は、作品の裏側や細部に潜む物語に焦点を当てます。アーティストの制作方法は様々ですが、社会状況や歴史的な背景から独自の理論や考え方を導き出したり、日常の生活の中に新たな価値を見出したりして作品として形にします。私たちと同じように毎日の暮らしを営みながら現代に生きるアーティストは、作品を通してこの世界を記録し伝える語り部（ストーリーテラー）であるとも言えます。そしてその作品はしばしば、見る人々の想像力を刺激して、それぞれの物語を思い起こさせたり、作品の細部から物語のようなものを感じさせたりします。

本展には、独特の世界を作り出すフィンランドの若手注目写真家のアンニ・レッパラ、建築という枠を飛び越えて多様なデザイン活動を行う建築ユニットの assistant、様々な人、手法、場所を取り入れて音楽活動を行う作曲家・ピアニストの野村誠、「絵画」という表現にこだわり独自の描画法を実践する画家の法貴信也が参加します。各アーティストは必ずしもいわゆる「お話」としての物語をテーマに制作を行っているわけではありません。しかし、優れた作品の前では私たちは何らかの物語を探ってしまう、とも言えるのではないのでしょうか。

本展を通じて、それぞれの作品があらわす作品固有の物語、現代社会の物語、作品と展示空間が織り成す物語、更にはそれを見る私たち一人ひとりが持つ物語など、様々な物語を発見してみてください。

タイトル：夏のアーティスト・イン・レジデンス 2012 展覧会「肌理と気配—Textures」

滞在制作期間：2012年5月18日（金）～9月21日（金）

展覧会会期：2012年7月28日（土）～9月17日（月・祝）10：00～18：00

入館料：無料

会場：青森公立大学 国際芸術センター青森 展示棟ギャラリーA、B、野外

主催：青森公立大学 国際芸術センター青森

協力：Taka Ishii Gallery、せんだいスクール・オブ・デザイン、ACAC 学生サポーター、青森公立大学芸術サークル、AIRS

後援：フィンランドセンター

助成：平成24年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業

お問合せ

青森公立大学 国際芸術センター青森

〒030-0134 青森市合子沢字山崎 152-6

TEL:017-764-5200 FAX:017-764-5201 MAIL: acac-1@acac-aomori.jp

ホームページ: <http://acac-aomori.jp/>

担当学芸員：服部浩之

## アーティスト紹介

### アンニ・レップアラ (Anni LEPPÄLÄ)



アンニ・レップアラは、独自の教育カリキュラムで数々のアーティストを輩出していることで有名なフィンランドのヘルシンキ芸術デザイン大学（現アールト大学）写真学科を卒業し、今日本で最も注目されるフィンランドの写真家の1人です。独特の色合いや質感、画面構成を特徴とした作品は、時に童話のような世界を作り出します。その童話はハッピーエンドの子供向けの訓話というよりも、普段は気にしない振りをしているけれど誰もが持っているだろう胸の底にある不安やおそれといった感情を揺さぶる、大人の童話のようなものとも言えるでしょう。

本展では、レップアラが今まで撮りためた作品と、青森で新たに撮影した作品を取り混ぜて展示します。

#### <主な個展>

- 2011年 「チャプターV」 VB 写真センター、クオピオ、フィンランド  
「静かなる存在」 ギャラリーTH13、エルメス財団、ベルン、スイス
- 2010年 「チャプターIV」 ギャラリータイク、ベルリン、ドイツ  
「ヤングアーティスト・オブ・ザ・イヤー2010」 タンペレ美術館、フィンランド
- 2008年 「中庭」 コルヤーモギャラリー、ヘルシンキ、フィンランド  
ギャラリーカプリーシ、クオピオ、フィンランド

#### <主なグループ展>

- 2011年 「タッチング・ドリームス」 国立写真美術館、コペンハーゲン、デンマーク  
「ヘルシンキスクールグループ展」 クリストフ・グイウ・ギャラリー、チューリッヒ、スイス
- 2010年 「大邱写真ビエンナーレ」 大邱、韓国  
「ハイライトーフィンランド現代写真」 ニューダコタ、アムステルダム
- 2009年 「ヘルシンキスクール写真展 風景とその内側」 資生堂ギャラリー、東京
- 2006年 「私のいる場所ー新進作家展 vol. 4 ゼロ年代の写真論」 東京都写真美術館、東京



《Curtain in mirror》2011. 31,5 x 47 cm,  
pigment print mounted on aluminium



《Castle (ark)》2010. 21 x 28cm,  
pigment print mounted on aluminium

Assistant [松原慈+有山宙] (アシスタント [まつばら・めぐみ+ありやま・ひろい])



assistant (アシスタント) という一風変わったグループ名を持つこの建築家ユニットは、建築設計のみならず、ウェブデザインやアートディレクション、展示デザインから、インスタレーション作品の制作やワークショップの企画実施など幅広い活動を行っています。

本展では、奈良で建設が進行中の《33年目の家》の一部を青森の職人や学生と共に制作し、そこに光や映像などを取り込んで独自のインスタレーション作品として完成させます。展覧会が終了した後これを解体し、同時期に仙台の東北大学にて制作展示していた家の別の部分も解体し、まとめて奈良に運んで、奈良で再構成して最終的には住宅《33年目の家》となる予定です。彼らの作品は、私たちの建築に対する考え方や、世界の見方をどうアシスト（手助け）してくれるのでしょうか。

<主な活動、作品>

- 2010年 《空間／VOID》 インスタレーション、「離陸として」展、Sedona 代官山、東京  
《風景／WINDSCAPE》 屋外インスタレーション、Design Tide Tokyo 2010, Design Tide Extension、MINI GINZA、東京  
《33年目の家》 住宅設計、SD Review 入選、奈良  
《Symmetric Arrangement of Time and Space》 インスタレーション&ワークショップ、国際芸術センター青森、青森
- 2009年 《With/ Without me》 インスタレーション&ワークショップ、「ラブラブショー」展、青森県立美術館、青森  
「‘おいしく、食べる’の科学展」 空間・展示設計&アートディレクション、日本科学未来館、東京



《空間／Void》2010、Sedona代官山、写真：assistant



《風景／Windscape》2010、MINI GINZA、写真：新津保建秀

## 野村誠 (のむら・まこと)



野村誠は、舞台上で楽器を演奏したり、スタジオにこもって作曲したり、という一般的に音楽家と聞いて想像するような音楽家とは一味違った活動をしています。例えば、福岡アジアトリエンナーレ、愛知トリエンナーレなどの芸術祭に参加した際は、地域の方と銭湯やプールの中で水の音を出したり楽器を演奏したりする試みをしています。また横浜の老人ホームに10年通い、そこに住むお年寄りと一緒に共同作曲もしています。2006年から2007年にかけてはNHK教育テレビの子供向け番組「あいので」の監修、また自らも「あいのでさん」として出演し、番組終了後の現在も各地でワークショップを行っています。

本展では、ACACの宿泊棟の屋上部分に畑を作り、畝を五線譜、そこに育つ植物を音符に見立てて作曲をしています。また、ギャラリーBではピアノを使った展示を行い、自身初のインスタレーション作品の公開となります。展示期間中には、ジョン・ケージの生誕100周年の日が訪れることもあり、ケージへのオマージュとなるピアノコンサートなども開催します。

### <主な活動、作品>

- 2012年 《風呂フェッショナルなコンサート》アートアクセスあだち 2011「音まち千住の縁」、タカラ湯、東京
- 《野村誠の老人ホーム・REMIX#2 ドキュメンタリー・オペラ“復興ダンゴ”》さくら苑プロジェクト実行委員会、ST スポット、神奈川
- 2010年 《老人ホーム・REMIX#1》さくら苑プロジェクト実行委員会、BankART Studio NYK、神奈川
- 《プールの音楽会》あいちトリエンナーレ2010、名古屋市立富士中学校プール、愛知
- 2009年 《野村誠×北斎》ディレクション、アサヒアートスクエア、東京



《プールの音楽会》、あいちトリエンナーレ2010、愛知、  
photo by Kazunori Ueda



ACACでの制作の様子

## 法貴信也 (ほうき・のぶや)

No Image

法貴信也は、踊るような動きのある生き生きとした線が印象的な作品を描く画家です。その作品を近くで見ると、線が二重に描かれていることがわかります。法貴は、筆を手に2本持ち描くことで、並行した2本の線を描いています。その2本の線で描く技法を法貴は「二本画」と呼んでいます。並行した2本の線が動きによるブレのような効果をもたらしているようにも見えます。

本展では、その「二本画」の手法を用いた新たな作品の制作に挑戦します。油絵具を塗った黒い紙と白い布を重ね合わせてその上から2本の筆で書き転写させ、同じ画像が異なった2つの面に現れるような2点組の作品を公開する予定です。

### <主な個展>

- 2012年 「法貴信也展」 Taka Ishii ギャラリー、東京
- 2010年 「法貴信也展」 Taka Ishii ギャラリー、東京
- 2008年 「法貴信也展」 Taka Ishii ギャラリー、京都
- 2005年 TARO NASU ギャラリー、東京
- 2004年 I-20Gallery、ニューヨーク、アメリカ  
「スリップ・ノット」 NADiff、東京

### <主なグループ展>

- 2010年 「RESONANSE」 サントリーミュージアム、大阪  
「絵画の庭」 国立国際美術館、大阪
- 2008年 「是が非の海外」 大和プレスビューイングルーム、広島
- 2007年 「ポートレートセッション」 広島市現代美術館・NADiff、広島・東京



《Untitled》 2012, Oil on canvas, 194x 131cm / 76.4 x 51.6inch,  
Courtesy of Taka Ishii Gallery, Photo: Yasushi Ichikawa



《Untitled》 2011, Indian ink on paper,  
108 x 76.5cm / 42.5 x 30.1 inch  
Courtesy of Taka Ishii Gallery, Photo: Yasushi Ichikawa

## 関連イベント

### <オープニングイベント>

全参加アーティストによるアーティストトーク

2012年7月28日(土) 14:30~16:00/無料

国際芸術センター青森ラウンジ

### <ワークショップ、レクチャー>

#### ■アンニ・レップアラレクチャー「Mystery of the visible—視覚世界をめぐるミステリー」

自身の作品とフィンランドの写真の現状などをお話します。

2012年8月12日(日) 14:30~16:00/無料

国際芸術センター青森ラウンジ

#### ■野村誠

##### コンサート&トーク「野村誠×ケージ」

アメリカ実験音楽の作曲家ジョン・ケージは、1912年9月5日に生まれました。彼の生誕100周年を祝して、野村誠が一夜限りの特別コンサートを行います。

2012年9月5日(水) 19:00 開場、19:30 スタート

##### コンサート&トーク「畑の音楽会」

ACACの宿泊棟の屋上に、畑の楽譜を制作中の野村誠による音楽会。ACACのベーゼンドルファーのピアノを最大限に活用したコンサートです。

2012年9月8日(土) 14:00 開場、14:30 スタート/無料

##### コンサート&トーク「野菜のピアノ」

ピアノと野菜の出会い音楽会。ACACでの滞在制作の集大成のコンサートです。

2012年9月9日(日) 14:00 開場、14:30 スタート/無料

※各会30名(申込先着順)

国際芸術センター青森ギャラリーB

#### ■法貴信也レクチャー&ワークショップ「線々境々」

独自の描画法を追求する法貴信也から作品の話聞いた後、その技法を体験します。

2012年8月19日(日) 13:00~16:00/無料

対象:中学生以上

定員:20名(要申込・先着順)

国際芸術センター青森ワークショップスタジオ

■assistant ギャラリーツアー&ワークショップ「移動するのは人か建築か」

assistant の展示空間とパビリオンを体験し、作品と ACAC の建築を楽しむ時間です。

2012年8月26日（日）14：30-16：30／無料

対象：どなたでも

定員：15名（要申込・先着順）

国際芸術センター青森ギャラリーA

■ギャラリーツアー

学芸員のナビゲーションでみんなでお話しながら展覧会を体験するツアーです。

2012年8月18日（土）14：30-15：30

2012年9月2日（日）14：30-15：30

申込不要

国際芸術センター青森展示棟